

2026年6月1日
札幌地区ユニオン発第4号

各 札幌地区ユニオン 構成組織
代表者 様

札幌地区ユニオン
代 表 小 林 幸 一

全国ユニオン北海道地方連合会
札幌地区ユニオン

第28期 第1回組織研修会の開催について

日夜のご奮闘に心より敬意を表します。

第2期高市政権下の各種政策に感ずるのは、「民意・法益より支持者・身内の『意』を優先する」という「依怙臆感」です。憲法に定める平和追及の理念には、まず経済発展と財政基盤確保が必要とし、「武器輸出」を効率的経済活動と定義して対応企業には財政支援まで用意する厚遇です。

国政の情報管理分野では首相と一部閣僚による「国家情報会議創設」が決定され、安全保障上の重要情報活動や外国によるスパイ活動へ対処するとしています。国益に反する外国からの被害に適正に対処するためというふれ込みです。警察・公安等の「取締り監視機関」に対して一括管理指示の権限を持つこのスキームを誰が欲したか疑問です。

「武器輸出」と「国家情報会議創設」が国民生活改善に資するとは思えず、むしろ紛争当事者の片側を応援することにならないか、強いては世界の二極分断化のお先棒を担ぐことではないのか、「外交活動」が見えないこれ等行動には過去の暗黒治安維持体制に逆戻りする危うさと「傲慢」を感じます。

今、この危険施策推進の経済活動を高精度・効果的・効率的に進めるために企業の労務管理裁量を大きくする施策が強調されています。

詳細は2018年に概ね提示されたものの、労働時間の残業上限時間で労働団体と政府の意見が過労死ラインで一致したことに非難が殺到し、施策は塩漬け状態でした。ただ、ここにきて、首相直轄の「日本成長戦略会議」が労働時間の規制緩和を裁量労働制活用としてまとめ、「労働政策審議会」に持ち込んでいます。

2018年に国民・労働者から大きな反対と苦情の声が上がり、今も過労死遺族会が強く反対する、この労働時間規制緩和・裁量労働制導入は何しても廃案とすべきです。札幌地区ユニオンはもとより、労働時間規制緩和・労働法制改悪に反対の方針を掲げています。今、ここに再度本課題の問題点を明確にして、多くの労働者に行動参加を呼び掛けるべく、本第1回組織研修会を開催します。多くの組合員の参加を要請します。

記

集会名：札幌地区ユニオン 第28期 第1回組織研修会
(札幌パートユニオン 第42期 定例学習会 第1回を兼ねます)

日時：2026年6月27日(土) 14時～
場所：札幌地区ユニオン会議室(ほくろうビル4階)

内容：「高市政権の労働法制改悪を斬る！」(仮題)

次第：14時～ 開会・オリエンテーリング
14時10分～ 取り組み・運動の提案
「高市政権の労働法制改悪を斬る！」(仮題)
提案 札幌地区ユニオン 書記長 山本 功
※暫時、休憩と質疑を挟みます
15時15分～ 意見交換
16時 散開

参加：事前申込制です。6月25日(水)までにお申し込み下さい。

報告先：札幌地区ユニオン書記長 山本 功まで

TEL 011-210-1200 FAX 011-206-4400

※下記の申込書に参加者氏名を記載の上、御送付願います。

以上

～札幌地ユニオン第28期 第1回組織研修会 参加報告書～
「高市政権の労働法制改悪を斬る！」

組合名		担当者		電話番号	
出席者	役職	出席者	役職		
①		④			
②		⑤			
③		⑥			

報告先：TEL 011-210-1200 FAX 011-206-4400

担当：札幌地区ユニオン書記長 山本 功

報告期限：6月25日(水)迄に必ず報告願います。